

ナマリキシタバ

Catocala columbina

兵庫県：C

環境省：－

種の概要

開張43～53mm程度。前翅は鉛色を帯び、横線は黒く明瞭。後翅は黄色で、中央部の黒帯は内縁まで広がる。後翅頂の斑紋は不明瞭。山地に生息し、幼虫はイワシモツケ、イワガサ、イブキシモツケなどのシモツケ類を食べる。年1化性で、成虫は7月～9月に見られる。

(画像無し)

国内分布

本州、四国、九州

県内分布記録

神戸市、西宮市、宝塚市、上郡町、新温泉町

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
		○	○		○

特記事項

急峻な地形と生息地の関連が強く、分布は食餌植物(シモツケ類)の分布に大きく依存すると考えられる。産地は局地的で少ない。

保護上の留意点